

# リメイク

岐阜県立大垣工業高等学校 建設工学科

大橋・島岡・杉野・長瀬・安田・安福

## ～はじめに～

私たちは、二年前の先輩方が作った豊栄館前のベンチが劣化して壊れていたのを修復しようと考えた。



## ～製作開始～

### 1. 視察

まず初めに、ベンチの状態を確認した。  
改善必要箇所

- ・ 木材が腐敗していた
  - ・ ネジが錆びて外れていた
  - ・ 土台のパイプが陥没していた
- という問題があった。

木材は使用できる状態ではなく、土台の強度も落ちていたので作り直すことにした。



### 2. 計画

使用するもの

- ・ 2×8の木材を7枚
- ・ 防腐剤ニス
- ・ ビス、座金、ナット各80本

- ・ コンクリート
- ・ 鉄筋
- ・ ペンキ

### 3. 修復

#### [木材]

まず、ベンチの木を外そうとしたが、ネジの頭が錆びて潰れていたため取り外しが困難だった。

#### [土台]

土台のパイプが5本中3本陥没していたため安全に考慮し、補強するためドリルで穴を開けセメントを流し込み、さらに強度を上げるため鉄筋を入れた。

色が剥げていたので、ベースの色と同じ色で塗りなおした。



### 4. 製作

#### [木材]

- ・ 座面部分を2×8の板から42枚分切り取り、角をやすりで削り座りやすい用に加工した。
- ・ 木材にネジ部分の位置を書き、卓上ボール板で穴を開けた。
- ・ ニスで材料を塗布した。



## 5. 取り付け

- 1) パイプが劣化して変形していたためはめ込むのに苦戦した  
形を変えずに無事取り付けることができた
- 2) 木を並べてみた
- 3) ネジが通るか確認した  
穴がずれていた
- 4) ネジ穴をドリルで拡張し取り付けた
- 5) 完成



## 6. 仕上げ

- ニスを再度塗った
- ネジを塗らないように注意した

## 7. まとめ、考察

以前とは違うデザインで木材を取り付け、柄をつけずにニスで防腐し、ツヤを出すだけにした。

木材の加工は、普通の木から切断し角をとったり、ニスを塗ったので、時間がかかりとても大変なんだと感じた。

木材の取り付けは、穴の位置がずれてしまったりして、合わせる所を頑張った。



# インターロッキング

花壇とベンチの間の通路の一部が木の根っこの影響で隆起していて、危険だったため修繕した。

- ① 盛り上がっていた部分のレンガを外した
- ② レンガの下の砂をかき出した
- ③ 砂の量を調整し、端から埋め込んだ
- ④ 完成



## まとめ、考察

レンガが変形していたため、外すのが大変だった。

直線に並べるのではなくて少しカーブしていたのではめ込むのが大変だった。完成したら盛り上がりがなくなり見た目がきれいになったことと、歩くときにつまずく危険がなくなったので良かった。